

大野支所複合施設整備基本計画策定検討第3回ワーキングたより

大野支所複合施設の整備基本計画に関する「第3回ワーキング検討会」を開催いたしました。
 今回のワーキングは、前回の意見をふまえた「土地利用計画（案）」及び「支所付随機能棟平面計画（案）」、「賑わい施設平面計画（案）」を基に、その内容について確認をした後、「支所付随機能棟ワーキング」、「賑わい施設整備検討ワーキング」の2つにわかれ、土地利用計画（案）及び各導入機能について、参加者の皆様から引き続き、ご意見・ご質問を頂きました。

【開催概要】

日時：平成26年11月14日（金）
 14:00～16:00
 場所：廿日市市大野支所3階大会議室
 参加者：各種団体代表者（6名）
 議題：土地利用計画の検討
 支所の各フロアの使い方の検討
 賑わい施設のイメージの検討



ご意見を
 頂きました！

支所の各フロアと賑わい施設の使い方の個別意見

【ATM】
支所内に設置されていると良い

【自動販売機】
1階ホールや、2階休憩コーナー等に設置したい

【会議利用について】
現在の会議室利用について
・区 各区の委員会
・区長連合会 支所内会議室
・老人クラブ 市央センター

【会議室について】
市民センターの例
・目的の打ち合わせは無料で貸出
・大規模な会議の時は有料で貸出

【情報検討】
団体の活動内容及び利用意向を把握した後、規模の検討を行うべきでは？

【賑わい施設との関係性】
・賑わい施設との会議室の併用は効率も悪く、望ましくない

【多目的室】
・アルコールを含む飲食が可能であると良い

【情報交流スペース】
・各団体が定に連携し、情報を交換できる場づくりが重要

【情報交流スペース】
・PC作業スペース
・イベント等のチラシ/展覧物スペース
・各団体等士の息詰るスペース等が必要

【情報交流スペース】
・賑わい施設との兼ね合いも検討するべき

1. 運営・仕組みのイメージ

運営
【どんな主体が関わるのか？】
廿日市市内の経済団体が母体となった会社を設立
関連団体とのネットワークが必要

仕組み
【どのような仕組みをつくり、今後の検討課題は何か？】
出向者協議会が必要
地産地消の推進
独立採算ができるような運営を
売上と地域性のバランス
高齢者から若者までが参加できる仕組みづくりが必要
売上げの割合を公共に還元する仕組みにしてはどうか
キーステーションとサテライトステーションでネットワークを構築
かき・あさり・白鯉・グルメなどを活用し、イベントのある施設として呼び込む
地元野菜とレストランの連携
加工も必要
青果地だけでなく加工品も必要であり、主は加工品である

こんな機能
・道の駅
・地域産業の活性化

効果・期待
・地元根ざした情報発信
・地元雇用・人材
・サテライトステーション（地域ネットワーク）
・地域産業の育成支援
・起業・創業支援（チャレンジショップ）
・特産品・新規開発等

ご意見を
 頂きました！

土地利用の個別意見

1. 最終A案

2. 最終B案

廿日市市分権政策部経営政策課

〒738-8501 廿日市市下平良一丁目11-1 Tel. (0829) 30-9119 Fax. (0829) 32-1059